

# コスモス ニュースレター EMC & 安全

## Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2021-08-01

No. 133



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

### コスモス ニュースレター EMC & 安全 目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: CISPR 14-2 Ed. 3.0 家庭用器具、電動工具等機器 イミュニティ(2/2).....	3
IEC: 新規格リスト.....	9
ISO: 新規格リスト.....	11
UNECE: 第 184 回会合での車両規制の調和のための世界フォーラム報告書(1/2).....	12
国際テーマ: CB スキーム年度運営会議 (6月1日~3日) のハイライト.....	15
国際テーマ: ISO/IEC: IT 製品のセキュリティの評価のためのコモンクライテリアの実施..	16
国際テーマ: EU: 2.4 GHz ワイヤレス製品に要求される欧州規格 ETSI EN 300 328 の新版	16
国際テーマ: EU: バッテリーが環境に及ぼす影響への注目が高まる.....	17
国際テーマ: インドネシア: ITC 機器の承認のための試験レポート要求事項.....	17
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	18
<hr/>	
USA: NIST: 米国における電気・電子機器の適合性要求事項に関するガイドの改訂版発行	19
USA: FCC: Part 15: 60 GHz スペクトル帯短距離レーダーの規則改訂を提案.....	20
USA: FCC: Part 15: 57~64 GHz 帯: 規定よりも高い出力で運用されるレーダーの機器...	21
USA: FCC: Part 15: 手持型 UWB システムについて提出された FCC 規則適用免除要請...	22
USA: NRTL の改訂されたプログラム方針 手順 及びガイドライン指令: 適合期限の延長..	22
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知.....	23
USA: ANSI/UL: 新規格リスト.....	24
USA: IEEE: 新規格リスト.....	25
<hr/>	
EU: 無線機器指令整合規格: 無線機識別機器、ネットワーク SRD 等規格を追加.....	27
EU: 体外診断用医療機器規制整合規格: ヘルスケア製品の滅菌に関する整合規格を公示 ..	27
EU: CENELEC: 新規格リスト.....	27
EU: ETSI: 新規格リスト.....	32
<hr/>	
中国: CQC: 家電機器や電動工具のイミュニティに関する規格 GB/T 4343.2-2020 を発行 ..	33
中国: CQC: A/V 電子機器等の制御リレーおよび器具用スイッチの安全認証規格の変更 .....	33
中国: CQC: 器具用スイッチの安全認証規格の変更に関する通知.....	34
中国: 新規格リスト.....	34
台湾: 新規格リスト.....	34
韓国: RRA: 放送通信機資材などの適合性評価に関する告示: 航空機用無線機材の簡素化等	36
韓国: RRA: 製品ライン別電磁両立性 (EMC) 試験方法の適用案内.....	36
<hr/>	
総務省: 電波利用環境委員会: CISPR A 作業班 (第 13 回) : CISPR16-4-2 の国内規格化 ...	39
総務省: 2.3 GHz 帯周波数における移動通信システムの導入のための制度整備.....	39
総務省: マイクロ波帯 UWB 無線システムの屋外利用の周波数帯域拡張等に係る制度整備..	40
総務省: IoT 機器の適正利用に係るオンライン講座の配信.....	40
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2021 年 7 月分).....	41
経済産業省: 令和元年度電気用品安全法試買テスト結果の概要: 一部は 38.7% の非適合 ..	41
経済産業省: 消費生活用製品安全法施行令の一部を改正する政令が閣議決定されました....	42
経済産業省: 製品安全 製品安全ガイドトピックス: IoT 化等による安全確保ガイドライン..	42
経済産業省: 燃料電池自動車等の規制の在り方について、中間報告書を取りまとめました..	43
国土交通省: UNECE: 軽・中量車の世界統一排出ガス測定法に係る協定規則 第 154 号... ..	44
<hr/>	
ちよっといっぷく~小クイズコーナー~Wi-Fi 6E の使用周波数は? .....	18
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内.....	26
社長の独り言.....	45



## [IEC: 規格解説: CISPR 14-2 Ed. 3.0 家庭用器具、電動工具等機器 イミュニティ\(2/2\)](#)

## [UNECE: 第 184 回会合での車両規制の調和のための世界フォーラム報告書\(1/2\)](#)

第 184 回会合での車両規制の調和のための世界フォーラム報告書 ECE/TRANS/WP.29/1159 の内容紹介

- **C. 高度道路交通システムと自動運転車両関連活動の調整 (IV. 作業の調整と編成)**  
41. 世界フォーラムは、自動運転/自動運転車に関する改訂されたフレームワーク文書 (ECE / TRANS/WP.29/2019/34/Rev.2) について議論し、承認した。
- **A 協定および付属規則の状況 (VI. 1958 年協定)**  
79. 事務局は、ネットで入手可能な、ECE/TRANS/WP.29/343/Rev.29 に基づいて、1958 年協定のステータスの最新の更新について世界フォーラムに通知した。
- **C. 国際全車両型式承認 (IWVTA) システムの開発**  
82. IWVTA に関する IWG の議長である日本の代表は、国連規制第 0 号の 04 シリーズの改正案(WP.29-184-07)、即ち、定期的な年次更新を提出した。これには、表への 4 つの国連規制 (No. 154、161、162 および 163) の追加が含まれる。

## [USA: NIST: 米国における電気・電子機器の適合性要求事項に関するガイドの改訂版発行](#)

- 6 月 10 日付けで、米国標準技術研究所 (NIST) のウェブサイトにて、「米国における電気・電子機器の適合性要求事項に関するガイド」の第 2 次改訂版が公開された。この文書では、電気・電子機器に関する米国連邦政府の規制の枠組み、CPSC、FDA、OSHA、FCC、EPA などの規制当局や関連法令、一部の州の規制、規格作成機関、試験・認証機関についての概要が説明されている。

## [USA: FCC: 60 GHz スペクトル帯短距離レーダーの規則改訂を提案し、コメントを求める](#)

- 米国 FCC は、60 GHz スペクトル帯短距離レーダーの規則改訂を提案し、コメントを求めた。60 GHz 短距離レーダーは、健康、個人の安全、自動化、環境管理のための新規用途への利用が期待できる

## [EU: 無線機器指令整合規格: 無線機識別機器、ネットワーク SRD 等規格を追加](#)

- 7 月 20 日付けの欧州官報にて、無線機器指令の整合規格に関して公示されていた委員会実施決定(EU)2020/167 を修正する(EU)2021/1196 が公示された。無線機識別機器、ネットワークショートレンジデバイス SRD 等の規格に関して、実施決定(EU)2020/167 を修正するもの。

## [経済産業省: 消費生活用製品安全法施行令の一部を改正する政令が閣議決定されました](#)

- 「特定保守製品」として指定されてきた 9 製品のうち、③石油給湯機と⑥石油ふろがまを除く 7 製品について、特定保守製品の指定から外す。

## 社長の独り言

2021年7月16日  
濱口 慶一

新型コロナウイルス感染症の第4波で東京に緊急事態宣言が発令されている中でのオリンピック開催には、理解が難しいところがあります。世界中から選手が来日してきていますが、出国時のPCR検査能力のレベルの相違なのか、今は少ないですがコロナ感染者の来日もあるようです。当然隔離されるだろうとは思いますが、日本国民としては二次感染を覚悟する必要があります。この社長の独り言を読者の皆様が読まれる頃にはオリンピック競技も終盤だと思いますが、感染者数が少なくなっていることをひたすら祈るばかりです。

先月もお知らせしましたが、弊社はNCB（国内認証機関）として、IECEE委員会からCBスキームへの参加を認められました。日本企業は製品の輸出が生命であり、自社の製品を世界各国に輸出して経営を営んでいます。また、逆に海外の製品を日本へ輸入する企業もあります。その中で自由貿易を阻害するような規制行為をWTOのTBT協定で禁止しており、日本もこの協定に批准しています。国によって特殊な製品規格を作らずに自由貿易を推進するため、各国はできる限り、同じ製品安全規格を用いるようにしています。その規格を作成するのがIECの各専門委員会、日本は経済産業省が所管となり、JISC（日本産業標準調査会）が代表を送り、規格の作成や改訂に参加しています。CBスキームが創設されたことで、製品別の適用規格でのCB試験所による評価を受け、NCBによるCB試験証明書（CBTC）の発行を受ければ、どこの国もそのCBTCとCB試験レポート（CBTR）を受け入れることになっていますので、日本国内のNCBから取得したCBTCとCBTRが、全世界に通用するということとなります。各国には供給電源電圧の相違や、保護接地を取りにくいなどの特殊な環境があり、CBスキームでは各国の相違点も明確にして運用されています。

コスモスがNCBになった意味は、各国のNCB認証機関が、CBスキームの基本ルールに従って弊社の試験データを受け入れてくれることにあります。また、逆に他のNCBの試験結果をコスモスは受け入れるという誓約書を提出していますので、他機関の評価レポートに基づくコスモスCSCマークの申請が出された時には、コスモスは受け入れますとIECEEに約束しています。

今回NCBとして認められた製品カテゴリは医療機器（MED）と測定機器（MEAS）になりますが、他の製品カテゴリも今後追加していきたいと考えています。そのためには、追加を希望する製品群でのCSCマーク認証が最低10件は必要になります。上記のカテゴリ以外でのCSC認証に関して、ぜひともお願い申し上げます。

4月から受講している長岡技術科学大学のシステム安全課程はちょうど学期末で、各教授からの課題の提出期限と通常業務に追われる毎日を過ごしています。積分、微分、論理式に行列式にテンソルの定義（？）等と、ついていくのがやっとの時もあり、困っていますが、今年度から2年間のコースで本物の修士課程ですし、それ位の技術力を有しないと卒業できないのでしょうか。ただ頑張るしかないでしょうね。

今年巣箱に来てくれた日本蜜蜂の1群が巣箱に出入りするのを毎朝眺めています。幼児出しなどの事象がありましたが、今のところ元気で、少し群が増えたように感じます。もう少しして学期変わりの時期になったら、蓋を開けてみて、中にいる蜜蜂さん達の生活を確認したいと思います。

読者の皆様がコロナウイルスの変異株にもどうか感染せずに、コロナ禍を乗り切れることを願って、今月の独り言を締めたいと思います。

- ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで [Yamashita-jun@cosmos-corp.com](mailto:Yamashita-jun@cosmos-corp.com)  
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作者者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

**コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2021-08-01 (No. 133)**

発行所: 株式会社コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄

iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2021 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。